

指示があるまで開いてはいけません。

## 平成24年度 クリーニング師試験問題

衛生法規に関する知識

公衆衛生に関する知識

洗濯物の処理に関する知識

### (注意事項)

- 1 解答用紙の記入欄に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 答えは、解答用紙に記入してください。
- 3 試験開始後30分を経過するまでは、退室できません。
- 4 退室するときは、解答用紙を裏返して机の左側においてください。

# I 衛生法規に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング業法は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合させるとともに、営業者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- (2) クリーニング所の営業者は、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び営業者の氏名を店頭に掲示しなければならない。
- (3) 営業者は、そのクリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、その構造設備が法令の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。
- (4) クリーニング師であれば、クリーニング所以外で、営業として洗濯物の処理を行ってよい。
- (5) 営業者は、クリーニング所(洗濯物の受取及び引渡のみを行うものを除く。)ごとに、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。ただし、営業者がクリーニング師であって、自ら、主として一のクリーニング所においてその業務に従事するときは、当該クリーニング所については、この限りでない。

問2 次の文中の( )にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング業法において、「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を( 1 )洗濯することを営業とすることをいう。したがって、洗い張り業のように、製品を( 2 )洗濯するような場合は、クリーニング業に含まない。
- ・ ( 3 )業もクリーニング業に該当する。
- ・ 洗濯物の洗濯をするクリーニング所に、業務用の機械として、洗濯機及び( 4 )をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。
- ・ クリーニング業法に基づき、クリーニング所に立入検査を行うのは、( 5 )である。

- |             |             |           |
|-------------|-------------|-----------|
| ア. 乾燥機      | イ. 環境衛生監視員  | ウ. 貸しおしぼり |
| エ. ラベル表示のまま | オ. 生活衛生指導員  | カ. 委託して   |
| キ. 脱水機      | ク. コインランドリー | ケ. 解いて    |
| コ. 原型のまま    |             |           |

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング師は、免許を受けた都道府県以外でもクリーニング師としての業務に就くことができる。
- (2) クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しを車両を用いて営業する店舗においては、都道府県知事に届出の必要はない。
- (3) クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、1月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- (4) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、1月以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- (5) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後1年以内に研修を受け、その後3年を超えない期間ごとに研修を受けることが義務付けられている。

問4 次の文中の（ ）にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- ・ 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の（ 1 ）について説明するよう努めなければならない。
- ・ 営業者の衛生措置として、洗濯物をその（ 2 ）に応じ区分して処理しなければならない。
- ・ 営業者の衛生措置として、洗濯物を洗濯又は（ 3 ）を終わったものと終わらないものに区分しておかなければならない。
- ・ 営業者の衛生措置として、クリーニング所の洗場については、床が、（ 4 ）で築造され、これに適切な（ 5 ）と排水口が設けられていなければならない。

ア. 保管方法  
エ. 勾配  
キ. 滑り止め  
コ. 材質

イ. 用途  
オ. 処理方法等  
ク. 不浸透性材料

ウ. 乾燥  
カ. 不燃性材質  
ケ. 仕上げ

## Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問1 次の文章は、「クリーニング所における衛生管理要領」で示された指定洗濯物の一般的な消毒方法に関する記述です。( )にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- ・ 理学的方法には、蒸気がま等を使用し、100℃以上の湿熱に( 1 )分間以上触れさせる方法や、( 2 )℃以上の熱湯に10分間以上浸す方法がある。
- ・ 化学的方法には、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素250ppm以上の水溶液中に30℃以上で( 3 )分間以上浸す(この場合終末遊離塩素が( 4 )ppmを下らないこと。)方法や、逆性石けん液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で( 5 )分間以上浸す方法などがある。

ア. 3	イ. 5	ウ. 8	エ. 10	オ. 15
カ. 30	キ. 60	ク. 80	ケ. 100	コ. 200

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものは×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 消毒とは、すべての微生物を死滅させることである。
- (2) 石油系溶剤を使用したドライクリーニングのみを行うクリーニング所は、水を使用しないことから、水質汚濁防止法の特定施設に該当しない。
- (3) クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンや石油系溶剤の廃液は、特別管理産業廃棄物に分類される。
- (4) 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場は、住居系地域や商業系地域における立地(建築)の規制は受けない。
- (5) 省資源化の具体策としての取組みの3Rとは、リデュース(廃棄物の発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)の頭文字をとったものである。

問3 次の文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- 日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で（ 1 ）的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び（ 2 ）の向上及び増進に努めなければならない。」と規定されている。
- WHO憲章では、「健康」を「完全な肉体的、（ 3 ）的及び社会的福祉の状態であり、単に（ 4 ）又は病弱の存在しないことではない。」と定義している。
- 厚生労働省「人口動態統計月報年計」によると平成23年における死因の第1位は、（ 5 ）である。

ア. 心疾患    イ. 公衆衛生    ウ. 平和    エ. 自由    オ. 安全保障  
 カ. 文化    キ. 悪性新生物    ク. 疾病    ケ. 経済    コ. 精神

問4 感染による皮膚疾患について、A群と関係の深いものをB群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。（重複可）

【A群】	【B群】
(1) <small>かいせん</small> 疥癬	ア. 真菌
(2) <small>でんせんせいのかかしん</small> 伝染性膿痂疹（トビヒ）	イ. 細菌
(3) <small>たいじょうほうしん</small> 帯状疱疹	ウ. ウイルス
(4) <small>はくせん</small> 白癬（水虫）	エ. 寄生虫
(5) 伝染性軟属腫（みずいぼ）	

### Ⅲ 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 繊維製品の組成表示は、その製品に使用されているすべての繊維の種類と使用割合を示している。
- (2) ランドリーとは、ワイシャツやシーツなどを、合成洗剤や石けん、漂白剤などを用いて、洗濯機で温水洗いする洗濯をいう。
- (3) ウェットクリーニングは、水を用い、洗濯物の損傷を極力抑えて、可能な限りの汚れを落とす洗浄方法である。
- (4) ランドリー用水は、カルシウムやマグネシウムなどの硬度成分を多く含んでいる硬水が適している。
- (5) 再汚染とは、いったん落ちた汚れが、洗濯液から再び洗濯物に付着することである。

問2 次の記述について、あてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニングに用いられる溶剤で、油脂溶解力が大きい、樹脂や接着剤などを溶かすことがある。
- (2) ドライクリーニングに使用されている溶剤で、デリケートな衣類の洗浄に適するが、処理後、十分に乾燥しないと、皮膚の化学やけどを起こすことがある。
- (3) ランドリーに、洗剤の洗浄力を増強する目的で使用される。メタけい酸ナトリウムやオルソけい酸ナトリウムなどがある。
- (4) 塩素系の漂白剤で、高い除菌力があるが、色物や毛・絹などには使えない。アルカリ性が高いこと、酸と混合すると塩素ガスが発生することなどから、取扱いには注意が必要である。
- (5) 国内で販売される繊維製品について、2014年度以降、これまでの取扱い絵表示にかわって新たに導入される予定の取扱い絵表示の基準となる国際規格である。

- |                     |          |               |
|---------------------|----------|---------------|
| ア. アルカリ剤            | イ. 界面活性剤 | ウ. 過酸化水素      |
| エ. JIS              | オ. 石油系溶剤 | カ. 過炭酸ナトリウム   |
| キ. ISO              | ク. 柔軟剤   | ケ. 次亜塩素酸ナトリウム |
| コ. テトラクロロエチレン (パーク) |          |               |

問3 次の記述について、最もあてはまる繊維を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- (1) 合成繊維の1つで、バルキー（かさ高）性、保温性が高く、セーターなどに用いられる。ドライクリーニングによる再汚染、タンブラーや仕上げによる伸縮、形くずれに注意が必要である。
- (2) しなやかで美しい色に染められるため、ファッション素材として使用される。濡れると強度低下が大きく、収縮や風合いの低下が起こることがある。
- (3) 美しい光沢としなやかな感触、美しい染色性をもつ天然繊維。光や摩擦に弱く、湿気でも黄変を生じる。
- (4) 手触りが硬くて涼しいため、夏用の衣料に多く用いられる。丈夫で吸水性は高いが、しわになりやすい。
- (5) 他の繊維に比べて格段に伸縮性が高く、水着や肌着などに使用される。熱や日光、塩素系漂白に弱い。

ア. アクリル

イ. 麻

ウ. 絹

エ. 毛

オ. ポリウレタン

カ. ポリエステル

キ. 綿

ク. レーヨン

問4 次の文中の（ ）にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

洗剤の主な成分は（ 1 ）である。この構造は、（ 2 ）と（ 3 ）という全く正反対の性質の部分からできている。このため、水と油、水と固体粒子などの（ 4 ）に吸着して、（ 5 ）を低下させて、ぬれや乳化、分散などの作用をおこし、汚れを落とす。

ア. イオン濃度

イ. 陰イオン性

ウ. 界面

エ. 界面活性剤

オ. 界面張力

カ. 親水基

キ. 親油基

ク. 陽イオン性